



にしはら

2014
No.503

1

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

謹賀新年

町の世帯・人口 平成25年11月29日現在

人口	男	17,730人
	女	17,587人
	計	35,317人
世帯数		13,652世帯
特定健診の受診状況(平成25年11月末日現在)		
受診率		22.4%
平成25年度受診率目標		40%
目標まであと		1,162人

今月のトピックス

- 新年のごあいさつ 2
- 西原町教育の日 3
- 西原町功労者表彰式典、町功労者表彰等祝賀会 3
- ふりかえる西原の2013年 4
- 特定健診 受診期限は3月31日まで 6
- 平成26年度保育所入所申込 源泉徴収票及び確定申告書の提出について 7
- 大型MICE施設をマリンタウンへ！ 8
- 口座振替で納付された方へ 「納付証明書」郵送のお知らせ 13
- 償却資産申告のお知らせ 14

ペルーとアルゼンチンからの研修生が、研修を修了

平成25年度の海外移住者子弟研修生受入事業の修了式と研修報告会が、12月5日に西原町中央公民館で開催されました。今年度の研修生はペルーから来た與那城 仲宗根 アルドさんと、アルゼンチンから来た小橋川 ジェシカ マリアさんの2名です。2人は24期の研修生として7月に来沖。約5か月間のさまざまな研修や体験をして、この日の修了式を迎えました。

修了式ではともに、小橋川明教育長から修了証を笑顔で受け取りました。上間明町長は「研修期間中の2人は、さまざまな行事にも参加し、多くの町民とも交流を深めた。その姿はとても光り輝いていた。晴れて修了を迎え、心から祝福したい」と激励しました。

修了式に引き続き行われた研修報告会では、文化研修の成果を披露しました。がぎやで風を踊り、三線を弾きながら沖縄民謡を歌う2人の姿に、参加者は成長を実感していました。

西原に来ることは、わたしの夢でした。西原に来る機会を与えてくれたみなさんに、心から感謝します。西原に来て印象に残ったのは、みなさんの優しさや温かさです。沖縄で過ごしているときは、外国人とは感じられず、ウチナーンチュのように感じていました。まるで、家族のような気がしました。いろいろな行事に参加させていただき、貴重な体験をしました。いっぺー、にふえーでーびる！



與那城 仲宗根 アルドさん 小橋川 ジェシカ マリアさん

これまで多くのことを学び、多くの新しい経験をして、多くの人と出会うことができました。お世話になったみなさん、いろんなことを教えてくれたみなさん、ほんとうにありがとうございます。

研修の間は毎日忙しくて、とても早かったです。そして、いっぱい大切なものをアルゼンチンに持って帰ることができます。いつまでも西原の美しい景色と広い空、青い海とみなさんのことを忘れません。



笑顔がたえない報告会でした。



研修生の身元引受人や研修を受け入れた多くの方に見守られ、研修を修了しました。



民謡3曲を披露

小波津集落センターが30周年を記念し、記念式典と祝賀会を開催



小波津自治会(糸数栄吉会長)で自治会活動や地域産業などの拠点として活用されてきた小波津集落センターが30周年を迎えたことを記念して、小波津集落センター30周年記念式典と祝賀会が、11月30日に同センターで開催されました。

式典では自治会を代表し、糸数会長が「本センターは、農業をはじめとする地域産業の振興や区民の憩いの場として、地域活動の拠点を担ってきた施設。これからも有効に活用し、子や孫のため、住みよい平和な小波津区の地域づくりを目指したい」と式辞を述べました。また、歴代自治会長や文化活動、ボランティアなどで地域に貢献した住民に、感謝状が贈呈されました。

式典に続いて行われた祝賀会では、小波津の伝統として受け継がれてきた棒術や獅子舞をはじめ、小波津音頭や子ども会の余興が披露され、式典をおおいに盛り上げました。



子ども会のみなさん



獅子舞と棒術